

作品 No.210



生きものの“つぶやき”:

**「腕立てな・・・得意じゃないんだよな・・・ふふっ」**

エッセイ:

9月だというのに強い陽射し照りつける午後。住宅地の路地を入った古い塀の上、少しひんやりとする場所に彼は居た。なんだか体を少しだけ揺らして一所に居る。じっと見つけても逃げようとはしない。彼は僕を見つめてこういった。「腕立てな・・・得意じゃないんだよな・・・」。ああ、小さく体が揺れていたのは腕立てをしていたのか。今、何回目？と問うと、「今？まだ17回目だ」という。俊敏な動きで虫を捕食するには腕の力が必要らしい。そうか、そんな風に努力をしてるんだな。知らなかったよ、と言うと「ふふっ・・・見られちゃったのはなんだか・・・恥ずかしいな」と陰ながらの努力を控えめに口にする。この努力、僕も見習わなければと思った。是非、とお願いして撮らせていただいた1枚。(320字)

### 生きものの紹介：

「カナヘビ」

カナヘビ科カナヘビ属。日本全国に分布する固有種。全長18～25cmで尾っぽが全身の2/3を占める。草原や藪地などに生息し、民家の庭で見られることがある。炎天下を避けるため、木陰や茂み、石や建物の隙間など日陰で見かけることがおおい。昆虫やクモなどを食べる。トカゲと間違われやすいが、カナヘビの体には光沢が少なく、目から体全体にかけて左右に白い線が入っているのが特徴。正面から見ると、笑っているように見える

### 撮影場所・日時：

栃木県佐野市・2021年9月23日

### 応募者の自己紹介：

1. 貫井宙／佼成学園高等学校・2年
2. 所属：特になし
3. 将来の夢：映像関係の仕事に就きたいです

### 審査委員会からのコメント

いきもの目線の写真と、独特な感性のエッセイが面白いです。腕立て17回は結構きついかも。